

施策評価（令和5年度）

戦略5 健康・医療・福祉戦略			
目指す姿1 健康寿命日本一の実現			
幹事部局名	健康福祉部	担当課名	健康づくり推進課
評価者	健康福祉部長	評価確定日	令和5年7月31日

1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

全ての県民が健康上の問題で日常生活を制限されることなく、生きがいや豊かさを実感できる社会の実現を目指します。

2 施策の状況

2-1 成果指標の状況及び定量的評価

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	判定	備考
①	【施策の方向性①～④】 健康寿命(男性)(年) 出典:厚生労働省「厚生労働科学研究班資料」	目標			73.91	—	—	75.21		n	令和6 年3月 判明予 定
		実績	72.61	—							
		達成率									
②	【施策の方向性①～④】 健康寿命(女性)(年) 出典:厚生労働省「厚生労働科学研究班資料」	目標			77.38	—	—	78.75		n	令和6 年3月 判明予 定
		実績	76.00	—							
		達成率									
③	【施策の方向性①～④】 要介護2以上の者(65歳以上75歳未 満)が被保険者に占める割合(%) 出典:厚生労働省「介護保険事業状況報 告」	目標			1.88	1.83	1.78	1.73	88.3%	c	
		実績	2.01	2.09	2.10						
		達成率			88.3%						
④	【施策の方向性①、②】 秋田県健康経営優良法人の認 定数(法人) 出典:県調べ	目標			70	80	90	100	198.6%	a	
		実績	32	54	139						
		達成率			198.6%						
⑤	【施策の方向性②】 受動喫煙防止宣言施設の新規登 録数(件) 出典:県調べ	目標			180	180	180	180	35.0%	e	
		実績	164	168	63						
		達成率			35.0%						
⑥	【施策の方向性②】 12歳児における1人平均う蝕数 (本) 出典:文部科学省「学校保健統計調査」	目標			0.4	0.4	0.4	0.4	75.0%	d	
		実績	0.7	0.6	0.5						
		達成率			75.0%						
⑦	【施策の方向性③】 特定健康診査の実施率(%) 出典:県調べ	目標			70.0	70.0	70.0	70.0	80.3%	c	
		実績	51.7	49.1	56.2						
		達成率			80.3%						
⑧	【施策の方向性③】 がん検診(胃・大腸・肺・子宮頸・ 乳)の受診率(%) 出典:県調べ	目標			50.0	50.0	50.0	50.0	13.4%~27.8%	e	
		実績	8.4~17.4	4.3~15.2	6.7~13.9						
		達成率			13.4%~27.8%						
⑨	【施策の方向性①、④】 仕事や社会活動等を行った高齢 者の割合(%) 出典:県「県民意識調査」	目標			60.0	61.0	62.0	63.0	97.5%	b	
		実績	57.0	53.5	58.5						
		達成率			97.5%						

※ 指標の判定基準

a: 達成率 \geq 100% b: 100% $>$ 達成率 \geq 90% c: 90% $>$ 達成率 \geq 80% d: 80% $>$ 達成率 \geq 70% e: 70% $>$ 達成率
n: 実績値が未判明

定量的評価結果	計算式
1.71 (E相当)	① a 判定 × 1 個 = 4 点 ④ d 判定 × 1 個 = 1 点
	② b 判定 × 1 個 = 3 点 ⑤ e 判定 × 2 個 = 0 点
	③ c 判定 × 2 個 = 4 点
	①～⑤の合計 12 点 ÷ 7 個 (判明済み指標) = 1.71

※ 指標の判定基準 a:4点 b:3点 c:2点 d:1点 e:0点

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準

A相当:平均点が3.6点以上 B相当:平均点が3.2点以上3.6点未満 C相当:平均点が2.8点以上3.2点未満
D相当:平均点が2.4点以上2.8点未満 E相当:平均点が2.4点未満

2-2 経過検証指標の状況と分析

	指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	備考
①	【施策の方向性②】 脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率(人口10万対) 出典:厚生労働省「人口動態統計」	実績	35.0	34.7	33.0 (速報値)				
分析	<ul style="list-style-type: none"> 本県の年齢調整死亡率(人口10万対)は令和3年実績値が35.6と減少傾向にあるが、全国値(令和3年実績値23.8)より高い値で推移している。 「令和4年人口動態統計(概数)」を基に推計した令和4年実績の速報値は33.0であり、前年より2.6ポイント改善した。 								

2-3 主な取組状況とその成果

<p>【施策の方向性① 健康づくり県民運動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民一人ひとりの健康意識の向上や行動変容を図るため、保健医療団体、市町村、企業等で組織する秋田県健康づくり県民運動推進協議会の会員やマスメディアと連携して、健(検)診の受診促進、受動喫煙防止などの様々な分野における啓発活動等により、健康づくりの気運醸成に取り組んだ(秋田県健康づくり県民運動推進協議会に新たに78団体が入会し、令和4年度末時点で会員数は262会員)。 県内企業への健康経営の浸透により、働き盛り世代の健康づくりを促進するため、秋田県健康経営優良法人認定制度の県内企業への周知を行うとともに、139法人を認定した。 <p>【施策の方向性② 生活習慣の改善に向けた意識改革と行動変容の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 減塩、野菜・果物摂取の意識向上を図るため、高齢者向けにアレンジした「新・減塩音頭」の踊りの制作や高校生が出演する動画の制作等、年代に合わせた普及啓発の取組を行った。また、県広報番組等により「秋田スタイル健康な食事」認証制度の普及を図り、新たに2店舗4メニュー(累計26店舗112メニュー)を認証した。 幅広い世代が利用するスーパーマーケット、コンビニエンスストア等(25企業、452店舗)の協力のもと、「あきた受動喫煙ゼロ推進キャンペーン」を実施し、望まない受動喫煙が生じないための機会・環境の整備に取り組んだ。 <p>【施策の方向性③ 特定健診・がん検診の受診の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全県のかかりつけ医から健(検)診未受診者に対する受診勧奨を行ったほか、大曲仙北、横手、湯沢雄勝地区の歯科医、薬局・薬剤師からも受診勧奨チラシを活用した受診勧奨を行った。また、がん対策推進企業等連携協定締結企業が啓発資材を活用して県民に受診勧奨を直接呼びかける取組を行った。 罹患率の高まる50歳代を対象として、市町村が実施する胃がん検診受診に係る受診者自己負担額の無料化または経費の軽減に対し、助成を行った(延べ2,708人受診)。 市町村が実施する大腸、肺、子宮頸、乳がん検診について、コール・リコールによる受診勧奨を要件として、市町村が実施する受診者の自己負担額の軽減に対し、助成を行った(延べ9,244人受診)。 <p>【施策の方向性④ 高齢者の健康維持と生きがいづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブにおいて、地域の清掃活動や見守り活動等の地域活動を通じて高齢者が活躍できる場を創出し、高齢者の社会参加を促進した(地域活動を実施した老人クラブ数:延べ2,161クラブ)。 高齢者を中心とするスポーツと文化の祭典である全国健康福祉祭(ねんりんピック)に本県から153名の選手が参加したほか、県版ねんりんピックが6市町を会場に開催され、延べ1,715名が参加した。 フレイル予防の普及啓発を図るため、運動及び栄養分野の専門家による、県民を対象とした研修会や出前講座を開催した(延べ30回、614人参加)。また、フレイル予防の指導を行う人材の資質向上のための講習会(1回、22人)を開催した。 	
--	--

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
E	成果指標の達成率を基にした定量的評価は1.71で「E相当」であることから、総合評価は「E」とする。
	【定性的評価として考慮した点】

4 県民意識調査の結果

質問文		県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。					
満足度		調査年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	肯定的意見		15.7%				
	十分 (5点)		1.5%				
	おおむね十分 (4点)		14.2%				
	ふつう (3点)		52.9%				
	否定的意見		20.8%				
	やや不十分 (2点)		12.7%				
	不十分 (1点)		8.1%				
	わからない・無回答		10.6%				
平均点			2.87				

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

5 主な課題と今後の対応方針

施策の方向性	課題	今後の対応方針
①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋田県健康づくり県民運動推進協議会の活動などを通じて、健康づくりに取り組みやすい環境の整備が進んでいるが、健康に関して無関心な県民や働き盛り世代における意識改革や行動変容にまでつながっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テレビCMやSNS等の様々な広報媒体を効果的に活用し、県民に対して意識改革や行動変容を働きかける。また、「秋田県版健康経営優良法人認定制度」の普及促進を通じて、働き盛り世代の健康づくりを推進していく。
②	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度に実施した食育に関するアンケート調査によると、「新・減塩音頭」及び「秋田スタイル健康な食事」認証メニューを知っている者の割合がそれぞれ17.8%及び8.9%と、認知度が低い状況にある。 ○ 受動喫煙防止宣言施設について、これまで金融機関や飲食店等を中心に登録が進んできたが、令和4年度の新規登録数が大幅に減少しており、今後の伸び悩みが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主個別訪問や関係機関との連携により様々な機会を活用して、「秋田スタイル健康な食事」の考え方（減塩プラス野菜・果物）や認証制度の普及啓発を通じ、県民の意識や行動変容につなげる。 ○ 既に屋内禁煙や敷地内禁煙に取り組んでおり、登録の要件を満たしているものの、受動喫煙防止宣言施設の制度を認知していない事業所等が一定数あると考えられるため、制度の周知に一層取り組むとともに、登録件数が少ない業種に対して、受動喫煙防止や健康経営の視点からの働きかけを行い、登録数の底上げを図る。
③	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍により落ち込んだがん検診受診率（胃・大腸・肺・子宮頸・乳）がコロナ禍前の水準に戻っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在15市町で利用されている「健（検）診予約システム」の導入の拡大を図り、健（検）診を受診しやすい環境整備を進めるとともに、引き続きかかりつけ医の受診勧奨などを通じて、健（検）診受診の重要性について普及啓発を行っていく。
④	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度に実施した健康づくりに関する調査によると、フレイルについて「よく知っている」と回答した者の割合は13.8%と、フレイル対策の重要性が浸透しておらず、高齢者層の健康維持の取組がなかなか進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者を対象としたフレイル予防についての出前講座やフレイル予防を担う指導者を育成するための研修の開催などを通じて、普及啓発を図るほか、フレイルの前駆症状とされる「オーラルフレイル」の予防についての取組も強化していく。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「E」をもって妥当とする。
